

8月の「どんぐりsカフェ」から 身内代わり老後の生活・終活サポート

8月19日の「どんぐりsカフェ」は、「おひとりさまの老後の生活不安をサポートします」というテーマで開催された＝写真。講師は、コロニーの医療関係で理学療法士として長く勤務され、現在はNPO法人「えにしの会」副理事長を務める皆木登美子さんをお願いした。

家族関係の変化や高齢期の様々な問題の質的な変化にどう対応していくか「えにしの会」の活動内容を通じ、具体的な事例を挙げてそのサポート内容を説明された。特に身寄りのない方



役員会 (8月19日) から

●学びと語り合いの「どんぐりsカフェ」と並び、「どんぐりs」の活動の柱、「高齢者のすまい相談」と「くらし相談」。課題は相談者数の伸び悩み。「すまい相談」は1級建築士など建築関係の専門家の会員を多く抱える本会の看板活動だ。●ニュータウンでは、住民の高齢化とともに住宅の老朽化が進んでおり、住まいに関連する悩みは深まっているはず。無料で専門家が住む人の立場に立って問題の解決策を提示する。「需要はあるはずなのに、なぜ相談者は増えないのか」。しばしば役員会で繰り返される議論だ。今回もより高度で複雑な相談の対応のため、他の専門機関と連携するなどの改良案が提案された。同時に、やはりカギは知名度と信頼度。見やすいパンフレットを配り、イベントへの出張相談など実績を積み上げていく地道な努力を続ける方向に落ち着いた。●高森台と押沢台の夏祭りの出店、天候にも恵まれて「光るおもちゃ」や「タマセン」販売の収益が予想を上回ったと報告された。来年は出店用の簡易テントを購入しようかと、役員らの鼻息が荒くなった。
(明賀 雄二)

や、近くに家族がおらず疎遠になっている方等の入院や施設入所時の身元引受け等も行っている。また介護保険のサービスでは適用外となる場合の通院介助や急病時のサポート及び金銭管理や公的な各種申請の手続きを含め、幅広い生活支援がサポートの内容であることが分かった。入会の費用等の詳細は「えにしの会」との相談になるが、葬儀費用等のオプションを付けなければ、入会時に約20万円程で入会となり、その後は年会費1万円を支払い、サポート内容により時間単位での生活利用料金が発生するとの説明であった。
(浪川 昇三)

どんぐりsカフェ「まちづくりセミナー」

- テーマ；高齢社会の“足”の確保は地区の拠点づくりから～ニュータウン再生の道をもとめて～
- コーディネーター；竹内伝史氏
(岐阜大学名誉教授 高座台在住)
- 日時；9月16日(土) 13:30～16:00
- 開催場所；東部ほっとステーション
(サンマルシェ南館1階)
- 資料代；200円 当日受付
- 問い合わせ先；0568-94-0119 (藤城方)

「すまい相談」大幅に見直し 快適な老後生活を支援

「どんぐりs」主催の「すまい相談」を訪れる相談者が減っている。これは超高齢化に伴う相談者側の「住宅のリフォームが先か、寿命が先か」という、相談しなければならない問題はあるものの、出向いて相談するのがおっくうになり、先もそう長くはない、すまいの不具合はいつでもよいというような、軽い「セルフネグレクト」のような現象も相談者の減少を引き起こしている一原因と考えられる。当会としてはこのような現状に対応すべく、「すまい相談」を根本から見直し、大変身を図ることになった。住いの老化は人間の2.6倍も早く進行すること、適切な手当てをしないと貴重な資産を失ってし

私の朝・昼・晩

新耐震と新新耐震設計

新耐震という言葉は耳にしたことがある方が多いと思います。無料耐震診断だとか、大きな地震が起こるたびにテレビで解説者が口にする言葉です。旧耐震とは、1981年（昭和56年）5月末までに確認申請が許可された建物の耐震上の性能のことです。新耐震とは、1981年6月以後の建物のことです。確認申請の許可とは、正しくは、許可ではなく、法律違反でないという事を「確認した」という意味です。ところが、熊本地震を契機に「新新耐震」という言葉が使われた。それは、新耐震設計で作られた比較的新しい建物でも多く壊れたからです。

建築基準法では、大地震が起こるたびに耐震基準の法律が変わってきた。大きな改正は、1981年、阪神大地震後の2000年です。つまり、1981年以前の建物を旧耐震設計の建物、1981年～2000年の建物を新耐震設計、2000年以後の建物を「新新耐震設計の建物」と最近言い出したのです。

それでは、2000年（平成12年）に何が変わったかということ、木造では、筋違い（耐震壁）の位置のバランスを考えた設計（4分割法）にする必要と、木材の継手に補強金物の使用が義務付けされたのです。耐震性能がいくらあってもバランスが悪いと壊れます。また釘ではなく粘りのある金物を使用しなさいと言う事です。高蔵寺NTの戸建て住宅も2000年以前のもものがほとんどです。専門家による「すまい相談」も「どんぐりs」で行われているので、「我が家の耐震性能」を見直すチャンスです。（片山 繁行）



程陽風雨橋（中国・三江トン族自治区）森 健

まうこと、すまいが快適であることは老後の日常生活が豊かになり心身的にも充実すること、などを前面に出して、より強力に事業展開を計る計画である。一方、無料相談を原則としてはいるものの、相談内容によっては更に、現地調査などの必要な案件もあり、このような相談には信頼できる専門機関を紹介するなど、内部の組織も見直しを検討している。（寺島 靖夫）

夏祭り、2会場での出店で完売

7月29、30日の両日、高森台小学校地区盆踊り大会。続く8月5日に押沢台夏祭りが開催された。「どんぐりs」は押沢台では、昨年同様「光るおもちゃ」の販売に加えて、これまでの「鮎の塩焼き」に代わる「タマセン」の販売に挑戦しました。熱い鉄板で卵を焼く作業は想像以上のものがありました。行列ができるほどの人気。「光るおもちゃ」も両会場で完売するなど、大きな成果を得ることができました。

9月の「高齢者・すまい無料相談」

●お電話か直接面談会場にお越しください

電話：080-4540-3553（どんぐりs事務局）

面接相談会日時：9月10日（日）、24日（日）、

（ともに13：30～16：00）

会 場：東部ほっとステーション

（サンマルシェ南館1階）

9月の「大人のたまり場」

日 時：9月13日（水） 13：00～16：00

同27日（水） 13：00～16：00

会 場：「いつだって いま」

（高森台6丁目東高森台集会所そば）

参加費：200円

問い合わせ先：

080-4540-3553（どんぐりs事務局）